第71回ちばてつや賞
一般部門 準大賞受賞作品

三つ子のたましい

野田塔子（のだとうこ）

ドン
ガタタッ
父は
飲もうが飲むまいが
母を殴る人でした
出しなよ
昨日の
かーせーぎー
ゴキ…
ゴリッ
数奇な運命をたどった
母と子供たちの物語…
パァン
身重だった母は
逃げ出しました
父のその後は
知れません
どうなったの
でしょうね

ひとりで子供を産みました

ホギャァ

しかし

いまと違って昔です
母の村では
多胎児は忌み子でした

殺してやったぞ
ひとり!!

もうひとり
殺せと
言うか!?

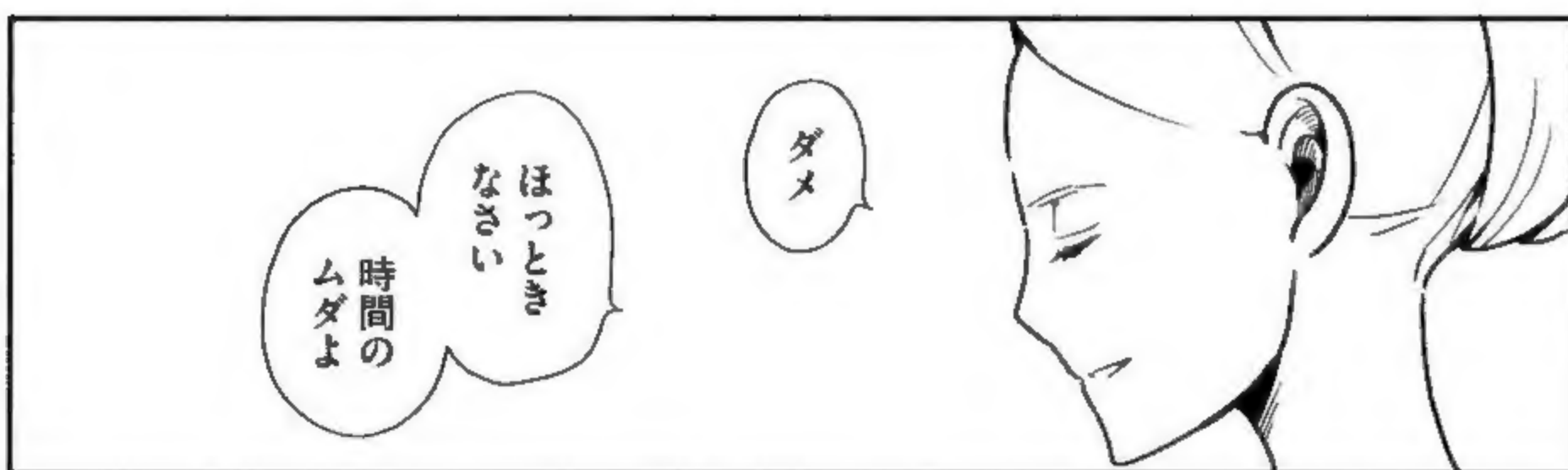
ホギャー
ホギャー

ホギャー
ギャー

文字通り
全身
血にまみれ

我が子の臓腑を
握りしめ
叫ぶ母を

……

それ以上
追い詰める者は
ありませんでした

そして
そうやって生き延びたのが…
私たち双子なのです

…あっやっぱり引きますよね
昔の話っていうのはね…すみません…
いえいえ!!
こわばりー
ははは

さて、今回ドルノー賞ノンフィクション部門を受賞されました
自伝『ポラリス・ロウ』

ご本は双子のお兄様のカリナエ・ロウさんの執筆で…
印象的な挿絵は双子の弟で画家のリギル・ロウさんによるものです
かようにご兄弟は本来三つ子だったわけなのですが

この表題『ポラリス・ロウ』というのが——
そうです

私たち双子の身代わりとなり
生まれて死んだ長兄の名前です

出戻りの母に
厳しかった
村の者も

さすがに
同情したらしく
少しは待遇が
マシになり

家計が
火の車だったのは
当然のこと…
お母さん
食べんの
お母さんは
いいのー
私たちも薄々
この何も食べず
ものを言わない
兄が…
お母さん
ポラリスの分も
ご飯作ってんの？
……そか

どういう出自の
どんな存在なのかに
気付いていきました

さて
学校では

やーい
獣の子ー
父なし子ー
かーちゃんは
アホー
大変よく
いじめられ
ました
ぎゃははーー

ボコ
スカ

ボロ…

その日のことは
非常によく
覚えています
いてて
また
ケンカしたの？
だって
アイツら…
バカに
すんだもん
お母さんの
こと!!
あら～
いいじゃない
べつに
ほっときなさい
ダメ
ほっとけん
ゆる
さん
むき
ダメ
ほっとき
なさい
時間の
ムダよ
8
ねえ
カリナエ
ねえ
リギル

ひとのこと
ぐちゃぐちゃ
言ってくる
ヤツらに
かまってる
ヒマはないのよ

人生って
ぜんぜん
時間が
ないのよ

母が本来
伝えたかったで
あろう

という言葉以上に
私たちを
目覚めさせたのは

もしかしたら
この位置に
いるのは
ぼくじゃなくて

ポラリス
だったかも
しれないんだ…

という
可能性への
気付きでした

ガリゴリ
ガリガリ
ゴリガリ

ばっ

……
リギルのがじょうずだ
いえーい
WIN

ぼくら顔は一緒なのに得意なことはちがうんだね
がた
がた
うんきっとポラリスもぜんぜんちがうんだよ

どんなやつだったのかなー…
うーん…
もし自分の代わりに彼が生きていたら…
そんな気持ちを絵に託し…
私たちは彼を指針として歩み始めました

……
ぼくもこの髪型にしようかな
さわやかに…
あとぼくら背筋伸ばしたほうがいい…
このポラリスみたいに…
ピン
鏡のように

やーい今日も不吉な忌み子ー
わあっ
びんぼーにんめー
くずにくのーおめぐみでいきてるー

ポラリスなら気にも留めずに去るだろうな
わーい
やーい
やーい
そして図書館で本を読むはずである
スタ
スタ
スタ
こうして読書量が10倍に

うっ
F

ポラリスは
数学…
得意だった
かもよ…
D

ならばと

克服
よっしゃ…
A
あっぽく
これは
ダメかも…
C

したりしなかったり

労働の
原動力にも
なり
寒いよぉ〜
眠いよぉ〜
ポラリスは
泣き言
いわない…
うう〜〜〜

試験勉強も
ポラリスなら
あと一時間
がんばる…
ここ一番の
勝負も
ポラリスなら
堂々と行く…
あれも
これも
ポラリスなら
できたと…

そうこうしているうちにポラリスは——

完璧超人になりました

バァアーーン…!

成績優秀
特待生

スポーツ万能
博士課程
論文発表
研究表彰

人格者で誠実で頼りになって…

盛りすぎでは?

いやいや

もはや追いつけない目標になっていましたが追いつけないくらいがいいですよね

会社で
派閥争いに
巻き込まれ

おっと…

不祥事の
飛び火を
くらって

倒産して
無職

不渡り

離婚して

慰謝料

破産…

すまん
ポラリス…

せっかくきみに
ゆずってもらった
命なのに…
ぼくは
うまく
やれないで…

なに
言ってんだ

そんなこと
言うな
カリナエ
生きてるのは
おまえなんだぞ
また
やり直せば
いいんだよ
アテレコ

リギルは
いいじゃ
ないか…

なんか
うまく
やってる
もん…
おまえェ…

人は必ず一冊は本が書けるといいます

自分が生きてきた人生の本を…

子供の頃母に言われた通り…

ヒマさえあれば
本を読んできた
私は
筆を
とりました

で…なにを
書くんだい？

家族の
物語さ
ぼくたち
おかしな
三つ子と
母さんの…

今日このような
栄えある賞を
いただくことが
できたのは
母と弟
そして
ポラリスの
おかげだと
心から
感謝しています

わあ…！
パチ
パチ
パチ

ただいま
ポラリス
ただいま
母さん

人の
生き死には
どうしようも
ないさ
最初に
ポラリスが
選ばれたのも…
そうだな

あともう少し
生きてて
くれたらな…
賞の報告
できたのに

ポラリスも
天国で
よろこんで
くれてるかな
そうだと
いいけど
な〜
カサッ

…カリナエ!!

手紙が…
ポラリスの
中に…

カリナエ、リギル
この手紙は
母さんが死んでから読んでください

母さんの村では――

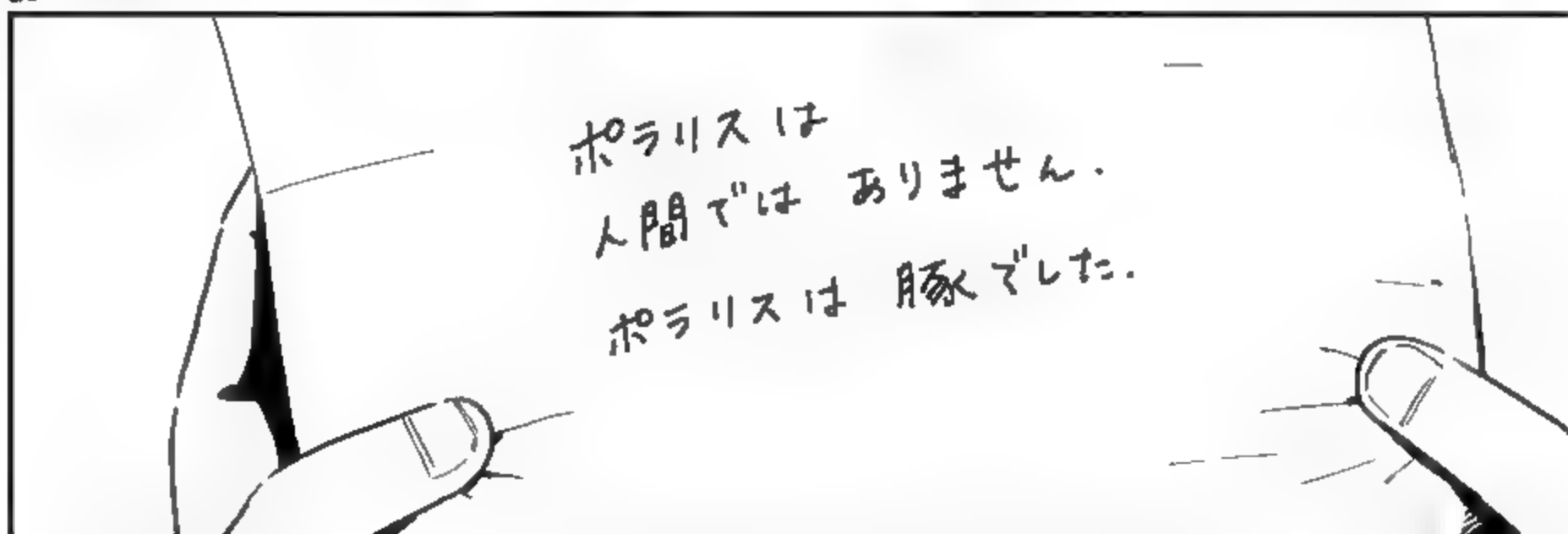
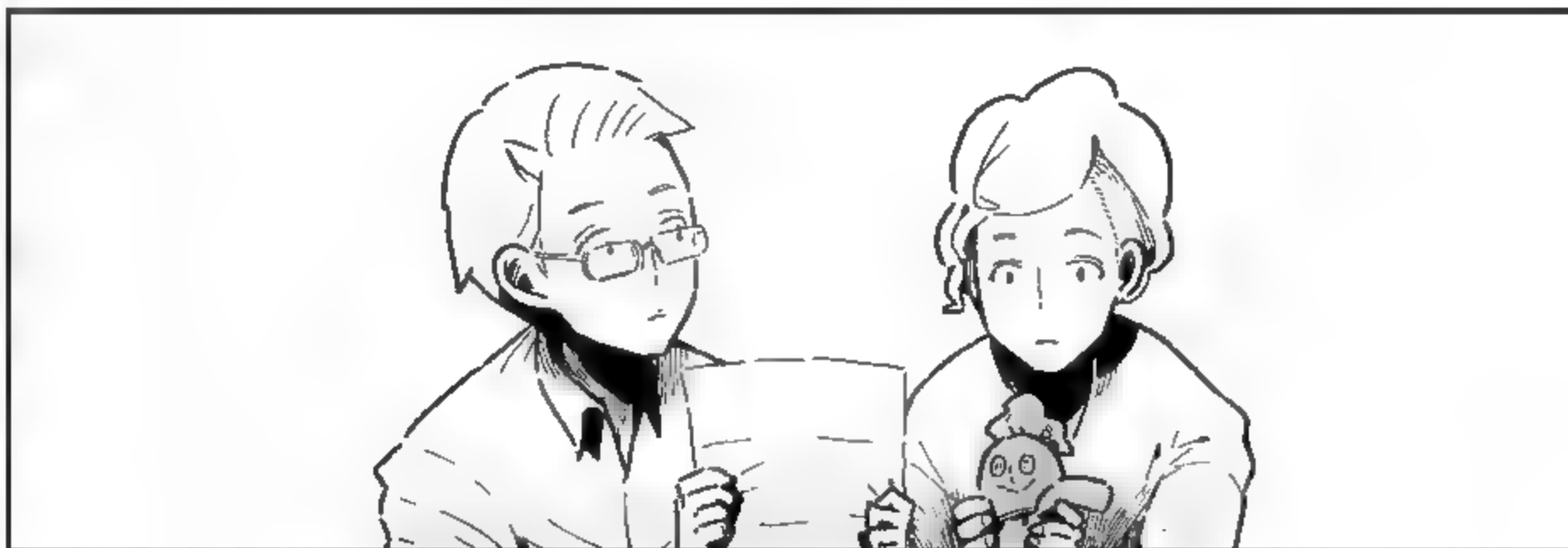
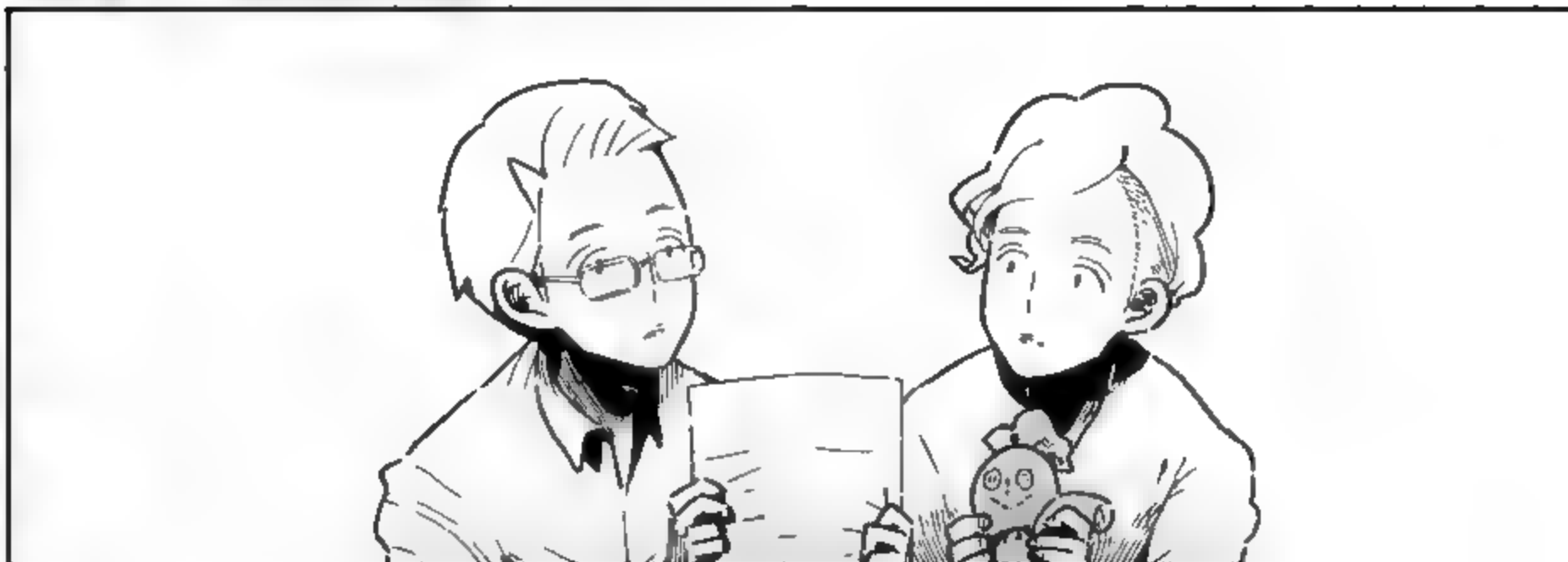
んっ…!?

双子を生むと
ひとり殺すしきたりが
ありました
でも母さんあなたたちを
絶対生かしたかったので
オギャー
オギャアー

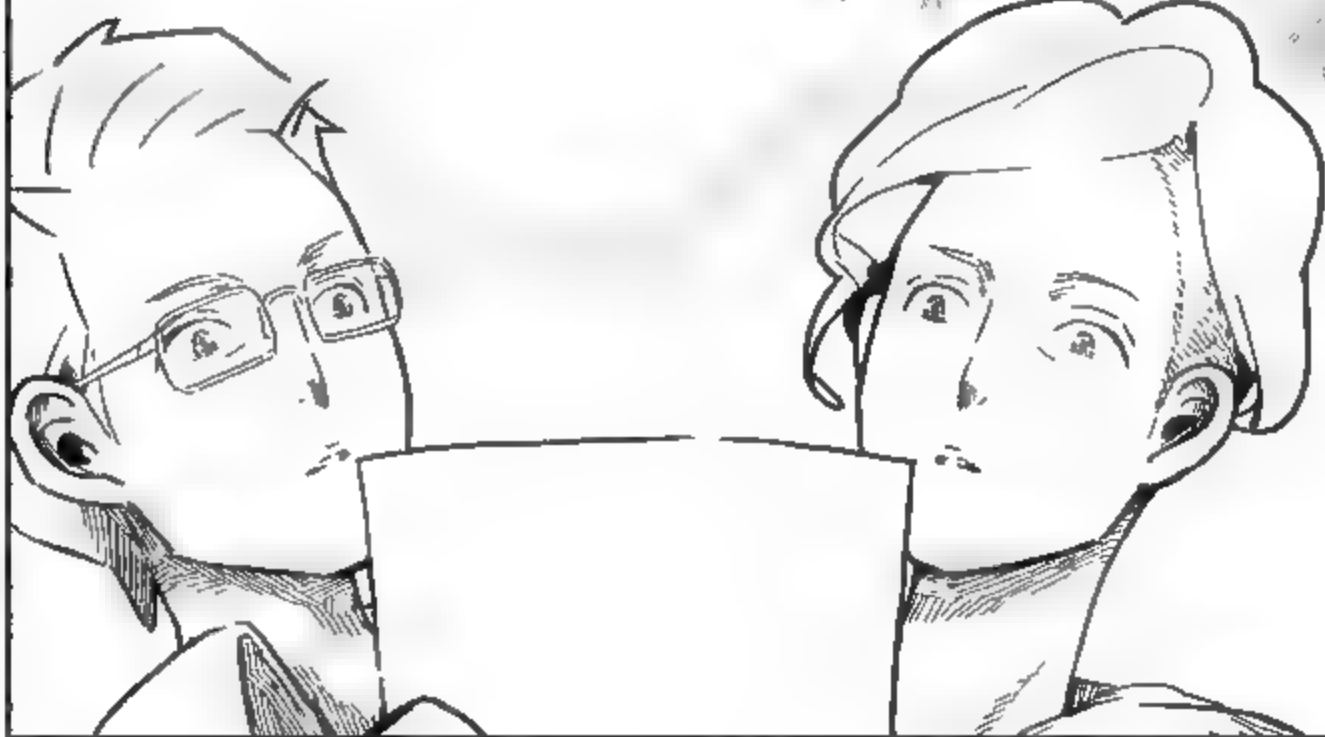
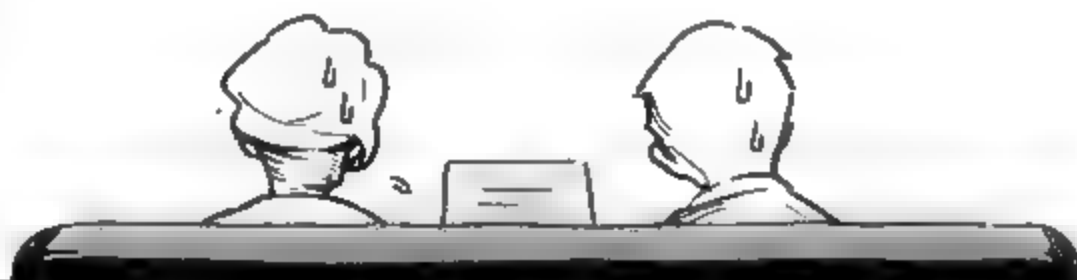
双子ではなく
三つ子だと
いうことにして
!!

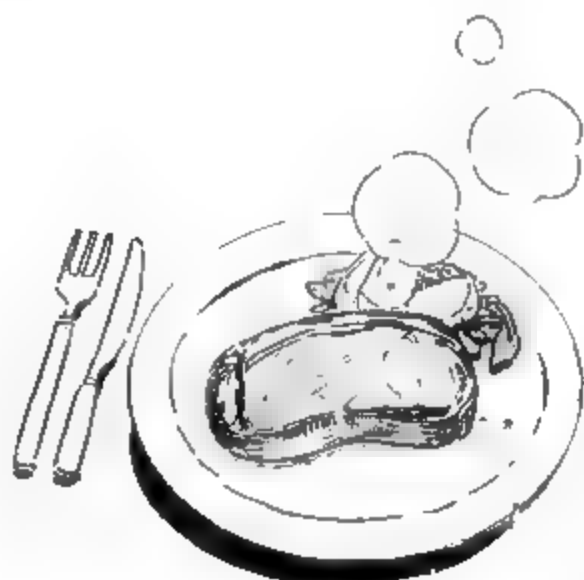
豚を身代わりにして
ごまかしました
殺した
もういいか

だからあなたたちは
三つ子ではなく
正真正銘の双子なのです

ポラリスという長兄は
実際は豚だったのです

双子が
あり得ない村でしたから

バレたり
皆の気が変わったりしないか
怖くて怖くて

必死でポラリスが
実在したかのように
ふるまっていましたが

言い時を逃しました
ごめんなさい

でもポラリスが豚だったからって
この際どうでもいいことですね

三つ子のたましい

あんなに不利な生まれと環境のなか
立派に育ってくれた
あなたたちは
母さんの誇りです

ポラリスと一緒に
お空の上から
あなたたちの活躍を
祈ってます

母より

おいおいおいおい

おいおいおいおい

おいおいおい…

おちついてきましたか
そこそこ…
庭に寝転がってみた

…どうですか

――リギル
むくり

ぼくを殴ってくれ
!?

感謝こそすれ…!!

なのに!!

ギリッ…

なのにぼくはッ…

ああ母さんなぜあえて真相を明かす必要があったのですか…と…

一瞬母さんを責めてしまったんだ!!

たっ他責思考!?

ガーーン

他責は
やめろーっ!!
TASEKI
へぶ

まあ
でも…
わかる!

26

ぼくも一瞬
思ったよ
一瞬な
ああ母さん
黙ったままでは
いられなかったの
かと
でもやっぱ
解きたかったん
だと思う…
解く?

魔法を…
ポラリスの
魔法をさ
もう
ポラリスが
いなくても…

…っていうか
つまりだね

ポラリスの分も
生きるとか…

ポラリスの分も
食べる働く
走るがんばる…

ポラリスの分も…
ポラリスの分も…
ではなくて

もういいから
自分の分を
生きろよ

みたいな…

『三つ子のたましい』へのご意見・ご感想をお待ちしております。宛て先は↓
〒112-8001東京都文京区音羽2-12-21 講談社モーニング編集部『三つ子のたましい』係まで

もうねえ
こんなの
良いように
解釈しとけば
いーんだって！

ぼくらの代わりに
死んだ兄が
実は最初から
いませんでしたとか
ムリだって！

ムリムリー！

…いやあ
お前がいて
ホントに
よかったよ…

なんだ
そりゃ！

わははは

バン バン！

私達はこの日を
ポラリスの
命日と決めました

彼と母に
最大の感謝と
別れを告げて…

賞を
辞退すべき
でしょうか

解釈に
困るところ
ですね

別れは、新たな可能性の幕開け——

☆END☆